



Qalawun (カラーウーン) VR プロジェクト から イスラム世界を学ぶ

[Qalawun VR Project \(aa-ken.jp\)](http://aa-ken.jp)

歴史探訪のツアーに出かけよう

第2班_教材_2ws-team2-1

熊倉和歌子・大野健人・荒井雅子
橋口望美・本田佳奈・高橋菜奈子

Scroll





Qalawun (カラーウーン) VR プロジェクトから イスラム世界を学ぶ

[Qalawun VR Project \(aa-ken.jp\)](http://aa-ken.jp)

歴史探訪のツアーに出かけよう

第2班_教材_2ws-team2-1

熊倉和歌子・大野健人・荒井雅子
橋口望美・本田佳奈・高橋菜奈子

Scroll



イスラム史 中世のエジプト建造物の VRツアー

高校生くらいから世界史でイスラムを扱う
日常的に触れるイスラーム関連の情報は
ネガティブなものばかり
別の角度から日常的に楽しむ機会を持ちたい

「もっと知りたい」を実現できるように
感じとる情報源 (VRツアー)
&
掘り下げた解説 (用語集、深掘り解説記事)

ヴィジュアルで訴える
そこから問いを立てる

1. VRツアーを自由に見学

<https://qalawun.aa-ken.jp/vrtour/>

新規性を最大限に活用し、
歴史建造物などの史資料に
触れることの面白さを
生徒に体感させる

2. 同時に、印象に残った点

日本の寺社仏閣との違い
などをメモさせる
→生徒の自発的な「問い」に発展する

3. 最初に1つ事例を示す(縄跳びの練習?)

教員から、

「(壁の)くぼみ」を示す①

同様の「くぼみ」を生徒に探させる②

「くぼみに関する問い」を示す

これは何なのか?

ミフラブとは何か?③

→「深掘り解説」をビジュアル的に用いて説明④

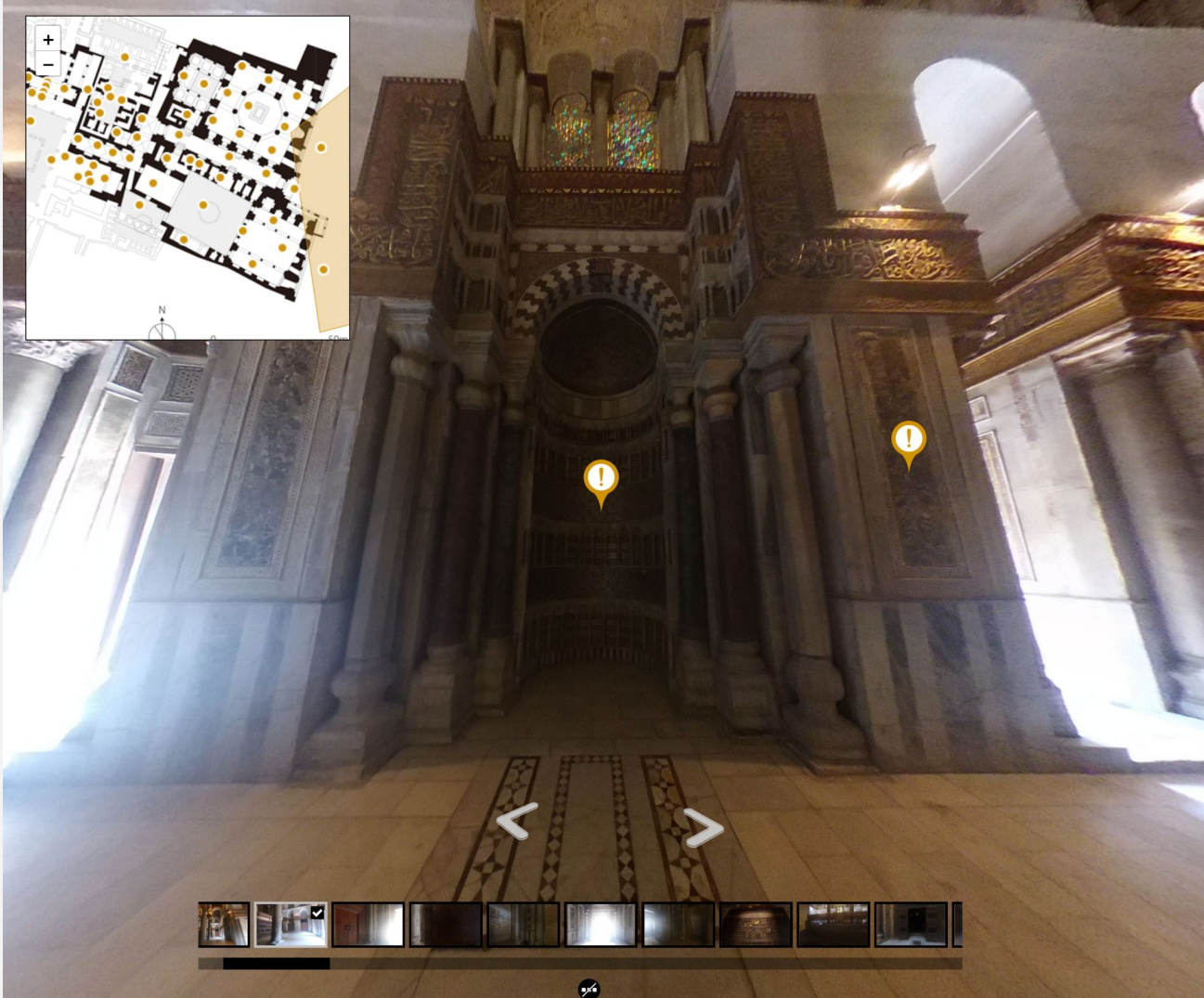
＝問いを検証する方法を示す



①「くぼみ」に着目



②同様の「くぼみ」を探す



③！をクリックして
解説を読む



MAU8-1



廟のキブラ（カーバ神殿の方角）側の壁には、ミフラーブがおかれている。これは、色大理石を多用したものであり、マムルーク朝期につくられたミフラーブの中でも随一の壮麗さをほこる。

また、このミフラーブは、高さ7m、幅4.5mであり、マムルーク朝期のミフラーブでは最大のものである。

両脇に白（白大理石）、赤（赤色斑岩）、緑（蛇紋岩）の3本の柱がおかれ、内側の緑門柱にアーチが架かる。このアーチは、わずかに馬蹄形をなしている。ミフラーブ内部の平面もわずかに馬蹄形となっている。



深掘り解説

④さらに詳しい解説を読む




日本語 | [English](#)

[プロジェクトについて](#)

[カラウーンの寄進施設について](#)

[グロッサリー\(用語集\)](#)

[深掘り解説](#)

[VRツアー](#) 

深掘り解説

[深掘り解説 | Qalawun VR Project \(aa-ken.jp\)](#)

ミフラーブとキブラ(執筆者:白井悠)

https://qalawun.aa-ken.jp/blog/20210301_482/

4. 自分の問いは何か？探究してみよう

生徒の自由な発想(問い)から学びを深める
＝探究学習との繋がり

生徒たちの問いに対して、教員が答えを提示できなかったらどうすればよいのか💧
→そんなときこそプロジェクト代表者の熊倉に直接
聞いて！

(Zoomでこたえます&出張も…?!)

Contact: [kumakura\[at\]aa.tufts.ac.jp](mailto:kumakura[at]aa.tufts.ac.jp)

展開例：

イスラムの史資料から問いを立て
VRツアーを自由に見学

柱を見学

建材がイスラーム以前の建築様式
古代エジプトのベロ
ヘレニズムと合体させている

どうして以上のような開発をするのか？

王朝が変わって全てが放棄されるわけではない
教会建築と似ている点

展開例：

イスラムの史資料から問いを立て
VRツアーを自由に見学

外観を見学

教会建築

イスラムVS西洋ではない地中海世界

カラーウーンの寄進施設

病院・礼拝室・廟

目的

共通性を探って欲しい

イスラムVS西洋というステレオタイプからの脱却

地中海世界という視点

宗教の多様性

生徒の自由な発想(問い)から学びを深める

=探究学習との繋がり

二次利用について

現在 : CCBY-ND

※ND廃止については検討中

本ウェブサイト、およびVRツアー内のコンテンツの著作権は、本プロジェクトに帰属します。また、これらのコンテンツ内で使われている画像の権利についても、出典情報が明記されているものをのぞき、本プロジェクトに帰属します。

本プロジェクトでは、一部のコンテンツを除き、クリエイティブ・コモンズ表示4.0ライセンスのCC BY-NC-NDを採用します。これは、本プロジェクトに権利が帰属する画像やテキスト等のコンテンツについて、著作者のクレジット（日本語名称: カラーウーンVRプロジェクト; 英語名称: Qalawun VR Project）を表示し、かつ非営利目的であり、そして元の状態を改変しないことを主な条件に、著作物の転載を認めるCCライセンスです。

画像コンテンツのうち、©Qalawun VR Projectと表記されているものを、このCCライセンスの対象とします。



ただし、下記のコンテンツについては、転載を一切認めません。

- プロジェクト・メンバーおよび撮影協力者、その他特定可能な第三者がうつっている顔写真
- ©Qalawun VR Project以外の著作権表示（例えば、©個人名）のある写真・画像
- 他のウェブサイトから転載した画像

本プロジェクトに著作権が帰属するコンテンツを引用する際には、必ず下記クレジットの表記をお願いします。

[Qalawun VR Project], 2019-, Digital collection managed by Information Resources Center at Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo University of Foreign Studies. URL: <https://qalawun.aa-ken.jp>

本ウェブサイトでは、他のウェブサイトに掲載された著作物を転載する際には、そのサイトの転載のルールに従っています。転載したものについては、すべてに出典とURLを明記しています。

このサイトの内容は予告なしに修正、変更、削除、追加などがなされることがあります。利用者が当ウェブサイトに含まれる情報の利用により直接・間接に生じた損失に対し、サイト運営者は一切責任を負いません。

2020.2.1 クレジット表記についての説明を追加しました

2020.2.1 免責事項についての説明を追加しました

2020.8.1 ©個人名の場合の取扱いについての説明を追加しました

[著作権について | Qalawun VR Project \(aa-ken.jp\)](https://qalawun.aa-ken.jp)

参考URL

Qalawun VRプロジェクト

<https://qalawun.aa-ken.jp/>

さらに発展した素材が探せるデジタルアーカイブ

- Database of Historical Monuments in Islamic Cairo

<https://islamic-architecture.aa-ken.jp/>

- British Museum(大英博物館)

<https://www.britishmuseum.org/collection/search?keyword=mamluk>

- Europeana(ヨーロッパ全体のデジタルアーカイブ)

<https://www.europeana.eu/en/>